

安全データシート

作成日 2006年12月25日
最新改定 2017年10月6日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: ビードワックス E3
 製品コード:
 品番:
 会社名: マルニ工業株式会社
 住所: 大阪府大阪市生野区舍利寺 3丁目11番1号
 電話番号: 06-6716-4171 FAX番号: 06-6715-1700
 緊急連絡電話番号: 06-6716-4171
 メールアドレス: sales@maruni-ind.co.jp
 推薦用途及び使用上の制限: タイヤ脱着時のビード部保護潤滑剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性: 生殖毒性 区分2
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(腎臓、肝臓)
 環境に対する有害性: 水生環境急性有害性 区分3
 水生環境慢性有害性 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 H372 長期又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害
 H402 水生生物に有害
 H412 長期的影響により水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】
 P201 使用前に取扱説明書入手すること。
 P202 すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P264 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P281 個人用保護具を使用すること。
 【救急措置】
 P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 【保管】
 P405 容器を密閉して、冷暗所に施錠して保管すること。
 【廃棄】
 P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物
 化学名又は一般名: タイヤ脱着時のビード部保護潤滑剤
 成分、含有量、化学構造式、官報公示整理番号及びCAS No.:

	成分名	重量%	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.	備考
1	水	55~65		7732-18-5	
2	グリコール類	30~35	既存	非公開	
3	脂肪酸ナトリウム	4~8	(2)-611	67701-11-5	ステアリン酸ナトリウムを含む
4	その他添加剤	1~2	既存	非公開	

危険有害成分

労働安全衛生法 通知物質

ステアリン酸ナトリウム

PRTR法 第1種指定化学物質

該当無し

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分の悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石けんで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の手当て、診断を受けること。

目に入った場合: 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分の悪い場合は、すぐに医師の手当て、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状: 経口摂取: 腹痛、吐き気、嘔吐、下痢、めまい、し眠、錯乱、意識喪失。
 皮膚に付着: かぶれ、ただれ、発赤。

応急措置をする者の保護: データなし

5. 火災時の措置

消火剤: 周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の危険有害性: 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 安全に対処できるならば、着火源を除去すること。

消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項: 環境中に放出してはならない。
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和: 少量の場合: 漏えい物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に入れ、ゆるくフタをして漏えい場所から移す。
 大量の場合: 防護囲いをし、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化の方法・機材: 危険でなければ漏れを止める。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取り扱い注意事項:	接触、吸入又は飲み込まないこと。眼・皮膚に付けないこと。 取り扱い後は良く手を洗うこと。
接触回避:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
技術的対策:	情報無し
保管条件:	容器を密閉して、換気の良い冷暗所で保管すること。
混触危険物質:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料:	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的ばく露限界値、生物学的限界値)

	成分名	重量%	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (日本産衛学会2008年)	ACGIH (2009年版)	
					TLV-TWA	TLV-STEL
1	水	55~65	未設定	未設定	未設定	未設定
2	グリコール類	30~35	未設定	未設定	未設定	未設定
3	脂肪酸ナトリウム	4~8	未設定	未設定	未設定	未設定
4	その他添加剤	1~2	未設定	未設定	未設定	未設定

設備対策: この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、排気用の換気を行うこと。

保護具

呼吸器の保護具:	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具:	適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策:	取り扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	白色の固体	pH:	9~10	臭い:	無臭
融点・凝固点:	(製品データ); 50°C(融点)				
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし				
引火点:	データなし				
爆発範囲:	データなし				
蒸気圧:	データなし				
蒸気密度(空気=1):	データなし				
比重(密度):	(製品データ); 1.03(計算値)				
溶解度:	データなし				
オクタノール/水分配係数:	データなし				
自然発火温度:	データなし				
分解温度:	データなし				
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし				
粘度:	該当しない				

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の温度、圧力下では安定である。加熱により水分が揮発すると可燃性を生じる。
危険有害反応可能性:	自己反応性はない。
避けるべき条件:	水分が揮発すると可燃性を生じる。
混触危険物質:	情報無し
危険有害な分解生成物:	情報無し

11. 有害性情報

急性毒性:

(別表) 急性毒性(経口、経皮及び吸入)

	成分名	重量%	急性毒性 (経口)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (吸入:ガス)	急性毒性 (吸入:蒸気)
1	水	55~65	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない
2	グリコール類	30~35	区分外	区分外	分類対象外	分類できない
3	脂肪酸ナトリウム	4~8	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない
4	その他添加剤	1~2	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない

経口 (製品データ)は、(区分外)に分類される。

経皮 (製品データ)は、(区分外)に分類される。

吸入(ガス) (製品データ)は、(分類対象外)に分類される。

吸入(蒸気) (製品データ)は、(分類できない)に分類される。

皮膚腐食性・刺激性:

(成分データ-1、2)は、皮膚刺激(区分外)に分類されている。

(製品データ)は、皮膚刺激(区分外)に分類される。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:

(成分データ-1)は、眼刺激(区分外)に分類されている。

(成分データ-2)は、強い眼刺激(区分2A)に分類されているが、10%未満である。

(製品データ)は、眼刺激(区分外)に分類される。

呼吸器感作性:

(成分データ-1、2)は、呼吸器感作性(分類できない)に分類されている。

(製品データ)は、呼吸器感作性(分類できない)に分類される。

皮膚感作性:

(成分データ-1、2)は、(区分外)または(分類できない)に分類されている。

(製品データ)は、皮膚感作性(区分外)に分類される。

生殖細胞変異原性:

(成分データ-1、2)は、(分類できない)に分類されている。

(製品データ)は、(分類できない)に分類される。

発ガン性:

(成分データ-1、2)は、(分類できない)に分類されている。

(製品データ)は、(分類できない)に分類される。

生殖毒性:

(成分データ-1)は、生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い(区分2)に分類。

(成分データ-2)は、(分類できない)に分類されている。

(製品データ)は、生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い(区分2)に分類される。

特定標的臓器・全身毒性

(単回ばく露):

(成分データ-1、2)は、(分類できない)に分類されている。

(製品データ)は、(分類できない)に分類される。

特定標的臓器・全身毒性

(反復ばく露):

(成分データ-1)は、長期又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害(区分1)に分類

(成分データ-2)は、(分類できない)に分類されている。

(製品データ)は、長期又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害(区分1)に分類される。

吸引性呼吸器有害性:

(製品データ)は、(分類できない)に分類される。

備考:

(成分データ-1)はグリコール類の参考値。

(成分データ-2)はステアリン酸ナトリウムの参考値。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:

(成分データ-1)は、水生生物に毒性(区分外)に分類されている。

(成分データ-2)は、(区分2)に分類されているが、含有量が25% >、2.5% <である。

(製品データ)は、水生生物に有害(区分3)に分類される。

水生環境慢性有害性:

(成分データ-1)は、長期的影響により水生生物に毒性(区分外)に分類されている。

(成分データ-2)は、(区分2)に分類されているが、含有量が25% >、2.5% <である。

(製品データ)は、長期的影響により水生生物に有害(区分3)に分類される。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装:

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号: 無し クラス: 非危険物 容器等級: 非該当

国際規制
 海上規制情報 非危険物
 航空規制情報 非危険物

国内規制
 陸上規制情報 非該当
 海上規制情報 非危険物
 航空規制情報 非危険物

特別の安全対策
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

法律	主な項目	グリコール類	脂肪酸ナトリウム	ステアリン酸ナトリウム
労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)			○
消防法	第4類引火性液体 第3石油類(水溶性液体) 危険等級Ⅲ	○		
海洋汚染防止法	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)	○		

16. その他の情報

参考文献

- 1) 安全データシート「グリコール類」(安全衛生情報センター)
- 2) 安全データシート「脂肪酸ナトリウム」(メーカー)
- 3) 安全データシート「ステアリン酸ナトリウム」(安全衛生情報センター)
- 4) 「化学物質等の表示・文書交付制度のあらまし」(厚生労働省・都道府県労務局・労働基準監督署)
- 5) 「危険物船舶運送及び貯蔵規制(12訂版)」(国土交通省海事局検査測度課 監修)

本データシートは、化学製品の工業的な一般的な取り扱いに際しての安全な取り扱いについて最新の情報を集めたものであるが万全ではない。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがある。

化学製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは安全性の評価を実施すること。

本データシートは保証値ではない。